

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第3回 岩城まちづくり協議会
開 催 日 時	平成30年11月20日（火） 午後6時00分～午後7時30分
開 催 場 所	岩城総合支所 1階 会議室
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
【会議次第】 1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項 （1）「観光資源洗い出しマップ」の活用について 4. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

(出席委員：8名)

[illegible]

平成30年度 第3回 岩城まちづくり協議会

平成30年11月20日（火）

午後 6時00分 開会

【開会・あいさつ】

○渡部市民サービス課長

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ご案内の時間となりましたので、只今より平成30年度、第3回「岩城まちづくり協議会」を開会いたします。

始めに、岩城まちづくり協議会 佐々木会長よりごあいさつをお願いいたします。

〔佐々木会長あいさつ〕

【協議内容】

○佐々木会長

それでは、さっそく案件に入りますが、本日の協議会につきましては、概ね午後7時30分までを、閉会の目途としておりますので、会議の円滑な進行にご協力をお願いいたします。

今回は、前回作成した「観光資源洗い出しマップ」について、事務局より清書作成していただいております。この活用について皆さんからご意見を伺いたいと思います。

●A委員

今回ピックアップしたものは「見るだけの観光」というものがほとんどなのではないか。今の時代、見るだけではなかなか集客に結びつかない。食べるとか体験するとか、そういうものも足して行って、これなら提案できる、というものにして行ってはどうか。

●B委員

観光マップを始め、いろいろなマップがある。それらの整合性もあるし、これをどう活用していくかが我々の仕事ではないか。マップを作って終わりではなく、どうやって人を集めるかだと思う。まちづくり・まちおこしをどうするか、自分でも見えない。

●C委員

せっかくマップを作ったので、もう少し詳細な説明を付けて活用すればいい。これを使ってどうしようなどということは、我々が考えても決してうまくいかない。詳しいことを説明した資料を作って、あとは見た人が行きたいか行きたくないか決めることであって、それでいいと思う。

●B委員

そう思って、神社については全部調べてある。ネットで全部出ている。そこまで調べることはできるが、それをどうするかだ。どうやって観光というPRしていくか。

●C委員

「こうすれば必ず観光地になる」なんていう案は無いですよ、プロがやらなければ。せっかく出したんだから、もう少し詳しくしてやればいいと思う。地元の人でも知らないことも周知できる可能性がある。

○事務局

C委員から、「このマップをもう少し詳しく」というお話でしたが、協議会としての今までの話では提言書を提出する方向で進めてはきた訳ですが、例えば協議会としてそういうマップを作ってみる、というところを目的にしていけることもあり得ます。

●C委員

今の段階ではどこに向かっているのか全く見えないんですよ。だから何か向かうところを決めた方がいいと思ったので。提案ですけど。

●D委員

先日男鹿に行ってきました、手作り風のマップがお店などに置いていました。裏に手書き風のマップがついていて、表に観光の詳しい説明がついているものでした。割とほかのところにもあるものですが、こういうものがあるともう一度行きたいなと思うのではないかと。

○佐々木会長

マップを作って、個々のものに対してイベントをやりたいとか、そういう提言じゃないんですよね？

○事務局

その辺は考え方だと思いますのでどんなやり方でもOKなんですけど、最終的な目的としてマップづくりをやっているところもあります。「まちづくり協議会でマップを作った、それが成果品だ」という取り組みをしているところもあるんで、そういうやりかたもひとつある、ということです。

昨年以来、協議会の位置づけとして『実践型』でお願いできればというお話も再三させていただいてきましたけれども、そういう意味ではマップを作ってみるというのはその部分には沿ぐ

うことでしょうし、提言に向けて協議は重ねてきたわけですけど、なかなか進むのが難しいなという感じもちょっとあるものですから、やり方としてはありなのではないかと思えますけれども。

●E委員

こういうものをどう活用していくか、観光として見てもらうか、そこまで考えると大きな仕事になってしまって億劫な感じにもなってしまいが、マップを作ることを最終的なこの会の目標にするのであれば煮詰めていくこともできると思う。ただ、このままでは施設の名前を入れただけになってしまうので、そこに説明を入れていったりすればいいのではないか。

協議会としてどういうものをやろうとしているか揺れているような気もするし、正解もないような気もする。協議会として観光マップを作り上げる、あまり欲張らずにまずマップを作ってみるのも方向かなと思う。

●B委員

ここに行けば何がある、ここに行って見てここに行って食べるというような、内容ごとにコース設定してみてはどうか。

●D委員

食べるのが魅力だからおいしいものがあればいいが。地域内に食べたり飲んだりが少ないけれど。

○佐々木会長

このマップは、漠然とあるものを張り付けただけの状態なので、神社なら神社、お寺ならお寺それだけのマップにしていったらどうか。

●B委員

天鷲村や道の駅を起点にして、「こういうところに行って、足を伸ばせばここまで行ける」とか、そういうマップを作っていくしかないのでは。

○佐々木会長

あとは、どういうところをピックアップしていくか。

●A委員

神社を対象にするやり方もあるし、どういうお客さんに来てほしいかという視点で考えるのもあると思う。子供連れが遊べる・楽しめるコースとか、歴史好きの人が楽しめるコースとか、対象とする「人」から入っていくのもひとつかと思えます。

●E委員

そういうふうに考えると、無いものね。

●D委員

遊ぶところ無いからね。

●E委員

無いのを有るようにするのが「まちづくり」なのかもしれないが…

亀田のうちわ餅もあるしひな祭りもあるが、通年でない。天鷲遊園があったころは子供連れでにぎわっていたが、それをもう一度というのは絶対不可能だし、だから難しいのだと思う。人が少なくなっている中で、今までやっていたものを引き継いでいくことは難しい。それを私たちが考えても全然身動きがとれなくなってしまうので、マップを作製して観光になるような形で表せればいいんじゃないかと思う。

●F委員

マップは点であって、それだけではなかなか人が来るというものでもない。例えば、ルートを誘導するような方法を考えてはどうか。何本かのコースを設定し、行って見たいという思いが湧き出るような誘導策も必要ではないかと思う。

○佐々木会長

じゃあマップに関しては、コースごとに作ってみますか。

観光資源として、あまりあれもこれもやっても大変と思うのですが、今の「マップづくり」ということでいいですよね？他にも観光資源の活用ということで提言したいとかありますか。

●E委員

観光資源イコール観光地ではないですよ。観光客を集めるというところでは私たちの手に負えないと思うので、今回はマップづくりでよいのではないかと。

●B委員

手に負えなくてもよいのだ、そこを提言してやれば。

●E委員

提言・提案は、マップを作っていくうちに出てくるかもしれない。それを提言していくのもいいかもしれない。

○佐々木会長

それでは、コースごとのマップづくりということでそれを煮詰めていきたいと思います。それを進めていく上で、もし提言が出ればマップと別に「提言書」として出します。

マップを作るとしても事務局に任せるわけにいかないでしょうから、もうこっちで集まってやるしかないですよ。

○渡部市民サービス課長

このマップに載った箇所の基礎資料的なものが役所にあるとすればそこを次回までに準備して、それをまたどんな形で載せていくかを皆さんに協議していただいてはどうでしょうか。どれだけのものが準備できるかわかりませんが、探してみたいと思いますので。

○佐々木会長

次回の日程については事務局で調整の上、連絡をお願いします。

これで本日の会議を終了します。ありがとうございました。

【午後 7 時 3 0 分閉会】

